

三心を磨く

学校だより NO. 8
令和元年 6月 7日(金)発行
須坂市立東中学校
文責：金井 勝久(教頭)
<http://www.azuma-school.ed.jp/>

◇◇ 第1回 「学校運営委員会」が行われました！ ◇◇

5月28日(月)、本年度「第1回学校運営委員会」が行われました。

長野県では、これまで築きあげたきた「学校と地域が連携して子どもを育てる取り組み」を土台にして、新たに地域住民が「学校運営参画」「学校支援」「学校評価」を一体的・持続的に実施していく取り組みを「信州型コミュニティスクール(信州型CS)」として、平成29年度からすべての学校において実施しています。

東中学校では、これまで行われてきた「学校を支援する取組」を土台として、「学校」と「地域に住む皆さん」や「各種ボランティア」の皆さんが話し合う場、「学校運営委員会(東中学校運営委員会)」を設立し、平成29年度より行っています。本年度は年4回の委員会を予定し、学校の様子や生徒たちの声をお聞きいただきこれからの学校運営に生かしたいと考えています。

☆第1回の協議内容より

1 生徒会三役への質問や助言

★縦割り活動で、たくさんの成果が出ていることはわかったが、この縦割りのチームはどのようにしてわけたか？

◇全校の前での「公開くじ引き」で各学年を「サルビア」と「コスモス」の2つのチームにわけた。2つのチームが、お互いに競い合い、教え合い、それによって高め合うことをめざしている。

「今年度の学校運営委員さんは15名の方々です！」

今年度は、昨年度の成果も引継ぐために、2、3年生は、去年のチームのままにしておき、新入生は、4月にくじを引いてチームをわけた。このチームで今年度は頑張っていきたい。

★今年度から始まった「東ミーティング」という試みは、だれの発案から生まれたものか？

◇僕たち生徒会で、「縦割り活動を大切にしたい」という方針を出したところ、「全校で意見を共有していきたい」「全校で話し合って決めていきたい」という意見が出て、これを受けて今年から始めることにした。

○この「東ミーティング」という発想・試みは、大変よいものだと思う。「話し合い活動」は、近年入試にも取り上げられるようになっており、高校入試にもつながる良い取組だと思う。自信をもって、さらに充実させてほしい。

★東中学校で大切にしている花作り、平和のカンナやコスモス街道については、生徒会や生徒からはどのような意見が出ているか教えてほしい。具体的には、「コスモス街道は広すぎるのではないか？」「平和のカンナをどう位置づけていくのか？」などについて、どのような話し合いをしているのか？

◇コスモス街道の活動については、これから本格的に始まるので、まだ、あまり話題になっていない。これから担当の委員会と確認し、全校生徒の声を聞きながら、話し合いたいと思う。だが、自分自身の考えとしては、昔からの伝統を引き継ぎたいという思いが強くある。

○コスモス街道の活動は、無理なく引き継げることが大事なことなので、全校で相談をしながらよりよい方向を決めだして欲しい。またこの活動は、この地域の中でも大切な活動の1つである。よって、東中学校の皆さんが頑張っている活動をしてあげていることは、地域としてもとても心強く思っていることである。できる範囲の中でこれからもよろしくお願ひしたい。



2 委員の質疑応答・意見交換より

★コスモス街道の活動について、近年、生徒数が年々減少している中、花作りをしている距離は、この活動を取り組み始めた25年前とほとんど変わっていない。つまり、生徒一人ひとりの活動量や負担が増えている。生徒たちが無理をして活動しているのは確かである。何らかの対策を考える必要が出てきていると思う。

○東中学校に限らず、須崎市全体においても少子化が進んでいる。花作りの存続については、東中学校だけではなく、地域全体においても、同じようなことが起きている。この地域で活動している「花いちもんめの会」も、会員が減少し、花作りの活動を維持するのが精一杯の状況とのこと。今後、コスモス街道の活動や花作りの活動は、地域全体で考えていく必要がある問題だと思う。

○中学校の生徒数減少によせて、具体的な方策として、「コスモス街道を短縮すること」はできないのですか？生徒たち一人ひとりが担当する活動距離を、短くしていくとよいのではないか。

○確かに、東中学校が担当している「コスモス街道の距離」は長いと思う。コスモス街道にカンナやサルビアが咲き乱れることを、地域の皆さんに「楽しみだ」と言っていただけのはうれしいことだが、それを支える活動であるPTAの作業も、回数を増やして対応しているので、正直いうとキツイ。

○「コスモス街道の活動」という、東中学校の伝統の花作りを続けることに意義があるとしたら、そろそろ活動場所をかえることも検討していく時期ではないか？例えば現在、東中学校の前の道路が工事中であるが、そこに花壇を作ることはできないだろうか？代替えの土地探しは難しいとは思いますが、作業のための移動時間や生徒たちの安全を考えると、場所を変えることも1つの方法である。そういった工夫で、この活動を続けられたらよいと思う。

○コスモス街道の活動については、「学校からコスモス街道距離が長い」ことや、「水やりのために、用水路や川に降りることが危険」であること、「水やりのための学校との往復にかかる時間」など、いろいろな問題点があることは確かである。さらにこれまでは、こういった活動を「生徒数」でカバーしていたと思うが、その生徒数も減少している現在、やはり活動の見直しは必要であり、不可欠である。これまで、PTAとしてもできることは協力してきたが、賛否両論、いろいろな意見がある。ただ、持続可能な活動になることを願っているが…

○現在、本校で行っているPTA会員による「コスモス街道作業」は、3年前から始まりました。このご協力により、生徒の活動が楽になった。とても感謝している。

○昨年の異常気象の際は、生徒の熱中症や安全を最優先にするため、休日や夏休み、平日も水やりは職員で担当した。水やりの距離は長いことから、職員2名ずつで組みになり、小一時間かけて水やりをした。四半世紀の長きに渡って続けている、この伝統の活動は引き継ぎたいが、昨今の諸事情を考えると、この活動を維持していくことが大変なことも確かである。

○コスモス街道の活動は、保護者の皆さんにもサポートしていただいているが、生徒会の活動がメインである。生徒たちの思いを大切にしながら考えていきたい。だが、後10年もしないうちに、本校の生徒数は100名を割り、1学級になる学年も出てくる。これについては6月の校長講話でも話題にする中で、生徒たちに考えてもらいたいと思っている。皆さんにもいろいろと話題にいただき、思いを出していただきたい。



※ 学校運営委員の皆様は、様々な立場、そして角度から活発にお話をしてくださいました。今回は、生徒たちの頑張る姿にエールやアドバイスをいただき、さらに学校が変わっていく姿をご理解いただくとともに、課題を共有していただきました。いただいたご意見を参考にさらに東中学校の進化をめざします。

また、コスモス街道については、ここ数年の間でしっかりと考え、生徒たちを取り巻く状況や生徒たちの意見を聞きながら「持続可能な姿」を決めだしていきたいと思います。